

## 約25<sup>ポルト</sup>で文字表示

### 伊勢電業「デジトロン」を開発

伊勢電業(三重伊勢正野町)は、社長の野田(氏)は、早川電機、日本電子材料の協力をえて、この新しい電子計算機に、約25ポルトの新しい数字表示管を開発した。

この新しい数字表示管は、従来の数字表示管に比べて、約25ポルトの低い電圧で動作し、消費電力も約1/10に減少した。また、表示管の寿命も約100,000時間と、従来の約10,000時間の10倍に延長された。

この新しい数字表示管は、現在、伊勢電業の工場において、大量生産されている。この新しい数字表示管は、今後、電子計算機の分野で、広く採用される見込みである。



新しい数字表示管「デジトロン」

電子計算機の開発結果を、表示の方法は、光線と真空管式であり、光線には、真空管式、その他のメーカーは、メカニカのハロス社特許をもち、メカニカ式を使用している。

「デジトロン」は、メカニカ式と比べて、真空管式のものであるが、約25ポルトの低い電圧で動作し、消費電力も約1/10に減少した。また、表示管の寿命も約100,000時間と、従来の約10,000時間の10倍に延長された。

この新しい数字表示管は、現在、伊勢電業の工場において、大量生産されている。この新しい数字表示管は、今後、電子計算機の分野で、広く採用される見込みである。